



6月11日、宇佐市安心院町で安心院ブドウ「加温デラウェア」の初出荷式がありました。

① 昨年より3日早い出荷となりました。今年の出来はどうでしょう？

.....
.....
.....

② 本年度、共同販売される安心院ブドウについて教えてください。

・栽培面積

.....

・生産量（見込み）

.....

・目標販売額（直販含む）

.....

・品種

.....

③ 見出し「甘～い 夏の○○」の○○に入る言葉を考えてみましょう。

.....
.....

みずみずしいブドウを摘み取る子どもたち＝11日、宇佐市安心院町中山



甘～い

夏の○○

デラウェア初出荷 安心院

【宇佐】西日本有数のブドウ産地、宇佐市安心院町で11日、安心院ブドウ「加温デラウェア」の初出荷式があった。今年は好天が続き、着色、糖度もともに良好という。昨年より3日早い出荷となった。
JAおおいた北部事業部安心院ぶどう部会（102人）の中山講一部会長（67）同町中山のブドウ園でセレモニーがあり、JAや県、市から約20人が出席した。地元産のぶどうジュースで乾杯。深見小の児童らがハウス内でみずみずしいブドウを摘み取った。
小野愛冬君（7）＝2年＝

は「実がいっぱい付いたブドウを取った。甘くてとてもおいしい」と喜んだ。
同事業部によると、本年度の共販用ブドウの栽培面積は94畝。240トンの生産量を見込み、目標販売額は直売を含み約3億円。県内を中心に九州一円や大阪、東京に出荷。デラウェアは8月末まで。ピオーネとシヤインマスカットなどは7～10月下旬ごろまで出荷が続く。
中山部会長は「色づきが良く、糖度は23度ある最高の出来。食べて農家の熱い思いを感じてほしい」と話した。
（藤本昌平）